

仏事の常識・非常識

Q..お念仏を称える回数は何回ですか？

A..一念が、自然と多念に及びます。

浄土真宗はじめ南無阿弥陀仏を称える宗旨に、古来よりついて回る問題を取り上げます。

お念仏を称える他なしという教えなので、何回お称えしたら良いのでしょうか？一回でもいいのか、それとも何回も称えた方がいいのか？分からないという事ですね。これが問題になるのは、要するに一回では頼りないので、何回も称えなきゃいけないと考えるからでしょう。

称える自分と称えられる阿弥陀仏が二つに分かれるので、こうした問題が出て参ります。古来「ふたごころ」と呼ばれます。

しかしお念仏つまり、阿弥陀仏に南無するとは、阿弥陀仏の他に自分がなくなったことです。この事を一心とか一念と言いついて来たのです。蓮如さんは「平生のとき一念往生治定のうえの、仏恩報尽の多念の称名とならうところなり」と教えています。称える回数よりも、阿弥陀仏の他に自分がなくなることが最も肝要です。



*****ハッピープレゼントクイズ*****

クイズに答えて景品をゲットしよう！

正解者の中から抽選で5名様にお花の苗ポツドをプレゼント致します。

問..今、旧県立体育館の解体をめぐつてもめています。この建物の設計をした左の人物の名前はどれでしょう？

① 丹下左膳

② 丹下段平

③ 丹下健三



答えの番号と感想と、住所・氏名をハガキかファックスで徳成寺まで送って下さい。ファックスの受付は、朝8時～夜9時までです。

〒760-0017 高松市番町2-13-25 徳成寺ハッピープレゼントクイズの係までふつて応募下さい。毎月22日締め切り。

当選者の発表は、景品の発送に代えさせて頂きます。*先月の答え、③の沖縄尚学高校さんでした。朝夕の二部制・タイブレークの導入など高校野球も様変わりしました

*****坊守の月イチフログ*****

無人島のふたり

120日以上生きなくちゃ日記

ある日突然がんが診断され、夫とふたり、無人島に流されたような生活が始まった...直木賞作家の山本文緒さんの闘病記です。気づいたら膵臓癌ステージ4、緩和ケアを選択し、田舎の家で暮らす毎日を綴っています。残された時間で仕事と片付けをこなす日々。一緒にいる夫さんの優しいこと。

周りの人々の優しさに支えられてギリギリのところで二人が頑張っています。お互いを思いやる気持ちが健気で何度も泣きました。余命4カ月だからこそ、それ以上夫さんのために生きなきゃと頑張る文緒さん、頑張ったからといって思い通りにならないのが人生。もつと生きて、頑張れ、でもページ数が残り少ないぞ、とドキドキしながら読みました。

